

# 令和3年度 横浜マイスターを選定

横浜市では、平成8年度から、市民の生活・文化に寄与する卓越した技能職者の方を「横浜マイスター」に選定する事業を行っています。

横浜マイスターは、学校や地域の行事などで広く技能の魅力を伝えたり、後進を育成し貴重な技能を継承するための活動などを行っています。

このたび、横浜マイスター選考委員会（委員長：松留 慎一郎氏 職業能力開発総合大学校 名誉教授）における厳正な選考を経て、第26期となる令和3年度の横浜マイスターとして、新たに2名を選定しました。

これにより、事業開始以降、選定された横浜マイスターは、総勢66名となります。

## ◆ 令和3年度選定（第26期） 横浜マイスター

(50音順)

職種	氏名	年齢	勤務先
靴修理・製造	むらかみ るい 村上 塁 さん	39歳	ハドソン靴店 (神奈川区松本町3-26-3)
洋家具職(椅子張)	よしだ まさよし 吉田 昌義 さん	78歳	株式会社ダニエル (中区元町3-126)

※プロフィール及び技・活動の紹介は裏面参照

### 【この5年間の選定状況】

年度	平成 29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	平成8年度～ 令和3年度累計
選定者数	1人	1人	3人	3人	2人	66人 (うち物故者17人)

裏面あり

## 靴修理・製造 村上 墨さん

### <プロフィール>

横浜生まれ横浜育ち。高校卒業後、靴専門学校を経て、「靴の神様」と呼ばれた横浜マイスター(第2期)である佐藤正利氏、日本最高峰の靴職人と言われた関信義氏に師事し、底付けの技術を習得。浅草の靴メーカーを経て、平成23年に師である佐藤氏のハドソン靴店を継ぐ。

### <技・活動の紹介>

店には海外で製造された高級紳士靴を中心に、全国の靴修理店やブランド販売店で修理を断られた靴、戦時中の靴など、修理不可能と思われる状態の靴が持ち込まれますが、お客様の希望を丁寧にヒアリングしたうえで詳細な修理方針を決め、対応しています。様々な靴修理に対応するため、数多くのパーツを揃えているほか、インクや釘など修理に必要なものを独自に開発するなど、工夫を凝らしています。

また、母校である専門学校にて底付けの特殊講義を行うなど、後進の指導育成に熱心に取り組んでいます。



## 洋家具職（椅子張） 吉田 昌義さん

### <プロフィール>

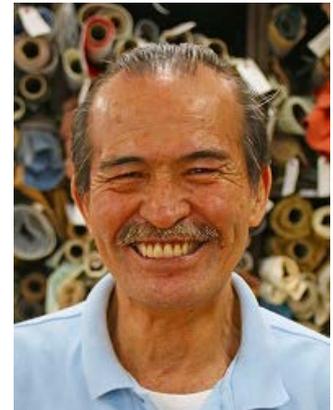
中学卒業後、家具製作会社にて修行し、椅子張の技術を習得。平成14年、横浜家具を製作している株式会社ダニエルに入社。

家具製作（いす張り作業）1級家具製作技能士。

### <技・活動の紹介>

横浜家具の椅子張作業を担当しています。伝統的な椅子張工法である複数の単独スプリングをバネ紐で固定する工法を得意とし、また、昔ながらの素材と現代の素材を組み合わせることで長持ちしつつ座り心地の良い椅子を目指すなど、工夫を凝らしています。所属会社の取組である「家具の病院」では、数十年前に製作された稲藁を使った椅子の修復にあたるなど、貴重な技術をお持ちです。

平成14年から平成30年まで神奈川県家具協同組合の技能検定試験事前講習にて技術指導、平成8年から令和元年まで技能検定委員、平成14年から現在に至るまで所属会社の取組である「家具の学校」にて講師を務められるなど、後進の指導育成に多大な貢献をされてきています。



### お問合せ先

経済局雇用労働課長

卯都木 優子 Tel 045-671-2303

※本件は横浜経済記者クラブへも同時発表しています。